



オゾン層<sup>そう</sup>にあいた穴<sup>あな</sup>をどうやってふさぐのか、  
あなたは知らないでしょう。  
死んだ川<sup>かわ</sup>にどうやってサケ<sup>よ</sup>を呼びもどすのか、  
あなたは知らないでしょう。  
絶滅<sup>ぜつめつ</sup>した動物<sup>どうぶつ</sup>をどうやって生きかえらせるのか、  
あなたは知らないでしょう。  
そして、今<sup>いま</sup>や砂漠<sup>さばく</sup>となってしまった場所<sup>ばしょ</sup>に  
どうやって森<sup>もり</sup>をよみがえらせるのか、  
あなたは知らないでしょう。  
どうやって直<sup>ただ</sup>すのかわからないものを、  
こわしつづけるのはもうやめてください。

1992年6月11日ブラジルのリオ・デ・ジャネイロ<sup>かいさい</sup>で開催された  
「地球環境<sup>かんきょう</sup>サミット」で、当時12歳<sup>さい</sup>の少女セヴァン・カリス=スズキさんが  
世界各国<sup>かっこく</sup>のリーダーを前<sup>まへ</sup>に行ったスピーチから